



2022年今年もよろしくお願ひ致します。

餅つき体験を行いました。



新年になり、1回目の体験活動は餅つき体験を行いました。今回は少年の立ち直り支援のために設置した少年サポートネット推進協議会の構成機関でもある山梨県遊技業協同組合様にご協力をいただき、実施することができました。

年末の風物詩であった餅つきも今では見かけることが少なくなり、大人であっても経験したことがない人があるのではないのでしょうか。子どもたちは自分でついた餅を自分で伸ばし、試行錯誤しながら自分で切り餅にして自宅に持ち帰りました。初めてとは思えない出来映えに、家族も驚いていました。

餅つきは1人ではできず、餅をつく人、返す人、伸ばす人、きなこを付ける人等、さまざまな役割を分担して作っていきます。子どもたちは自ら自分の役割を探して、参加者が一丸となって餅を作っていました。コロナ禍で人との距離が離れがちな状況が続いていますが、人との繋がりの大切さを再認識する貴重な体験となりました。



スマサポのおじさんの独り言

おじさんがずっと幼かった頃は、だいたいどの家庭でも家族みんなで年末にはべったん、べったん餅をついていたのさ。そんな遠い記憶を頼りにして手探りの状態で餅つき体験という未知のビッグイベントにおじさんたちは挑んだんだ。

まず、餅米は一体どのくらい用意するんだろうとか、基本的な事に1つ1つ検討を重ねてみたんだ。みんなが安全で楽しく餅つきができるように餅つきに詳しい方に伺って、餅つきのノウハウを伝授していただいたり事前にシュミレーション訓練をして、スマサポのおじさんたちだけで作業の手順を確認したりもしていたんだよ。それでも餅つき体験を迎えるまでは、何か手違いでもあるんじゃないかと気が気じゃなかった。

当日は、明け方近くまで強い風が吹いていて心配したけれど、日が昇る頃には風がやんで穏やかな天気変わったね。杵の重さに驚きながら、おぼつかない姿勢で餅をついていた〇〇君やつきたての餅をのし棒で伸ばしすぎて餅をピザのように変えてしまった〇〇君等々。瞳を輝かせて餅と格闘する君たちの真剣な姿があったね。おじさんが何よりも嬉しかったのは、君たちが楽しかったと喜んでくれたことです。

最後になりますが、餅つき体験を開催するにあたり、多大なるご協力をいただいた、山梨県遊技業協同組合をはじめとする皆様様に紙面を借りてお礼を申し上げます。



参加機関

- 山梨県遊技業協同組合
- 警察本部
- 山梨県少年補導員連絡協議会
- その他ボランティア

ありがとうございました。

支援の相談はこちらに連絡をお願いします

山梨県少年サポートネット推進協議会
愛称:スマイルサポートプロジェクト(スマサポ)

《事務局》
山梨県教育委員会 生涯学習課
青少年保護育成担当

TEL 055-223-1357

